

上士幌町商工会（小寺友之会長）に事務局を置くかみしほろバルーンスタンプ協同組合では、昨年10月に町内在住の中学生以下の子供を育てている世帯を対象に子供1人に1枚「子育て支援カード」を発行。満点になると商工会で5千円分の商品券と交換できるシステムになつており、子育て世代を応援している。

これは、町がふるさと納税の寄付金を活用して「ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金」を創設、この基金を活用した事業の公募を行い、当協同組合が応募したところ採択されたもの。町内対象者の80%にあたる457名が支援カードを申請した。

今年4月からは、18歳以下の子供に対象を拡大、さらに子供1人に2枚発行と枚数も増やした。

また、カードのデザインも一新しており、



写真は仁木会長(左)、
「訓子府たれカツ丼」(右)

TOSHIBA
Leading Innovation >>

課題解決にスピーディーに対応する

ICTソリューションをご提案します。

東芝ソリューション販売株式会社 公共ソリューション事業部
神奈川県川崎市川崎区日進町1-53 興和川崎東口ビル Tel 044-577-7069
www.toshiba-tsos.co.jp

安心、安全、快適な社会。
Human Smart Community
by lifenology - the technology life requires

地域とコラボする商工会

—商工会では困難である地域づくりを実践しています—

十勝管内 上士幌町

スタンプカードで
子育て支援

事業期間は来年3月末までとなつていて。

上士幌町商工会（小寺友之会長）に事務局を置くかみしほろバルーンスタンプ協同組合では、昨年10月に町内在住の中学生以下の子供を育てている世帯を対象に子供1人に1枚「子育て支援カード」を発行。満点になると商工会で5千円分の商品券と交換できるシステムになつており、子育て世代を応援している。

これは、町がふるさと納税の寄付金を活用して「ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金」を創設、この基金を活用した事業の公募を行い、当協同組合が応募したところ採択されたもの。町内対象者の80%にあたる457名が支援カードを申請した。

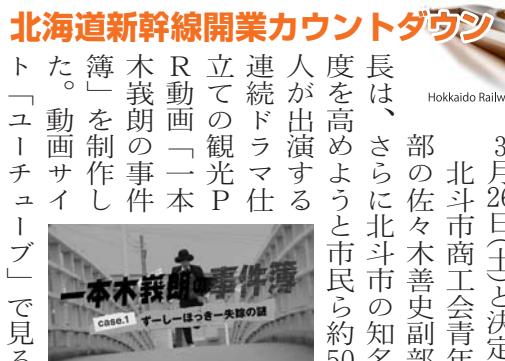
今年4月からは、18歳以下の子供に対象を拡大、さらに子供1人に2枚発行と枚数も増えた。

前年と同様に満点で5千円分の商品券と交換でき、町内72事業所で6ヶ月間使用できる。また、当協同組合では、これに通常のスタンプリベントはもとより、出産祝い金や、結婚祝い金、また環境貢献事業等地域に配慮した様々な支援事業を行ってきた。

本事業は、安心して子供を育てる環境づくりのために買い物を通じて子育て世代を応援し、併せて地元購買の増加を図ることで、地域経済の活性化につなげようとするもので、町内の子育て世帯には大変好評であり、地域におおいに貢献している。

「どうでもユキちゃん
『わくわく
商工会めぐり』の動向

[https://www.youtube.com/
watch?v=Ak916Ckkkrk](https://www.youtube.com/watch?v=Ak916Ckkkrk)



Hokkaido Railway Company Series HS
森々新函館北斗間の開業日が、平成28年3月26日(土)と決定。北斗市商工会青年部の佐々木善史副部長は、さらに北斗市の知名度を高めようと市民ら約50人が出演する連続ドラマ仕立ての観光PR動画「一本木義郎の事件簿」を作成した。動画サイト「ユーチューブ」で見ることがができる。

北海道新幹線新青森～新函館北斗間の開業日が、平成28年3月26日(土)と決定。

10月7日、道商工青連「木義人会長の地元である訓子府町に到達した。「青年部みんなで斗市まで繋いで行きます」と語ってくれた。

課題解決にスピーディーに対応する
ICTソリューションをご提案します。

管内

ることを狙いと
している。

当事業は今年
7月に初めて開

催し、予想以上
に消費者の反響

が大きく、参加店の84%に新規
来店者があり、64%の参加店が
普段よりも売上が上がるなどの
効果があった。

スタンプラリーでは、前回1
18本の景品を用意し、先着順
で抽選会を実施した為、スタン
プを集めることに気をとられ、
店内をゆっくり見てもらうこと
が出来ないなど課題を残した。
その為、今回は事業開始1時間
後の午前11時に抽選会を行い、
景品数も前回の2倍の250本
に増やし対応した。その効果も
あり、前回よりも多くの来場数が
あつたが、スマートに人が流れ
大盛況に終わることが出来た。



商工会は、今回のイベントを
通して、各店舗が接客技術やサー

ビスに磨きをかけ、共に魅力あ
る商店街を作っていくよう、
今後も支援していきたいと話
している。

高管内 競馬で ホッカイドウ 地域活性化

国内最大の馬産地を抱える北
海道日高管内で道営で唯一の平
地競馬場として、日高町に門別
競馬場がある。

従前より、道営によるホッカ
イドウ競馬は、札幌・函館・帯
広・旭川・岩見沢競馬場の5箇
所を巡回しながら開催していた
が、経済の低迷等による赤字経
営が深刻化し1997年には函
館・岩見沢・帯広での開催を断
念し、代わって門別トレーニン
グセンターを改装した門別競馬
場を新設し、札幌・旭川を含め
た三競馬場での開催に集約した。
その後も2008年旭川競馬
場、2010年には札幌競馬場
での開催をとりやめ、全日程が
門別競馬場での開催となつた。

しかし、その後は開催地の一
本化や効率化に向けた努力によ
り、2013年度は発売実績が
運営会社を含め競馬関係者等の

商工会は、今回のイベントを
通して、各店舗が接客技術やサー

の増加推移にあり、今後のより
一層の発展が期待される。

オホーツク管内 興部町の有小林 食品が農林水産大臣賞を受賞



「産学官連携功労者表彰」つ
なげる「イノベーション大賞」の
表彰が8月に東京ビッグサイト
で行われた。農業・食品産業技
術総合研究機構北海道農業研究
センターがコーディネーター機
関となり、興部町の有小林食品
センターがコアディネーター機
関となり、興部町の有小林食品
支が22年振りに黒字（1億7千
万円）を計上することができ、
現在は順調に推移している。

また日高管内商工会連合会

（橋本正美会長）においても例
年支援事業として協賛レースを
実施し、オール日高としての地
域振興に寄与している。

日高町商工会（武田卓也会長）
としても、地元応援隊として、
HIDA KABA・AI馬・プロ
ジェクトチーム」を6年前に立
ち上げ、併せて地元有志で組織
化した「ホッカイドウ競馬を応

援する会」とともに、札幌等で
のPR等の活動を行っている。
今年度も売上面で計画比112.
72%、前年比107.84%

本化や効率化に向けた努力によ
り、2013年度は発売実績が
運営会社を含め競馬関係者等の

この特性を生かした生ソバや
乾麺、実を利用したお茶等が商
品化され、地元の道の駅を中心
に販売されている。

現在、地域における6次産業
への取り組み強化により、「満
天きらり」を用いた生パスタや
菓子の販売も検討している。
また、機能性表示食品として
収益力の向上など、その成功事
例が評価されて農林水産大臣賞
を受賞した。

今回農林水産大臣賞を受
賞した連携テーマの「ダッ
タンソバ 满天きらり」を用い
た耕作放棄地解消と6次產
業化」は農作放棄地や遊休
農地を整備し、そこにダッ
タンソバの新品種を育成、
それを活用し商品開発を行
うというもの。



ダッタンソバは土壤条件
の厳しい土地でも比較的よ
く育成し、健康食材として
注目されている。しかし從

来のダッタンソバに含まれるル
チンは、水を加えることで分解
され強烈な苦味が出るのだが、
有量があるにも関わらず分解が
少なく苦味がほとんどない。

この特性を生かした生ソバや
乾麺、実を利用したお茶等が商
品化され、地元の道の駅を中心
に販売されている。

また、機能性表示食品として
収益力の向上など、その成功事
例が評価されて農林水産大臣賞
を受賞した。

ピューマンプラザ

新篠津村商工会長
今田 義春さん



でのわかさぎ釣りに多くの愛好者が訪れる。

さらに、最近はタイ人旅行客の受入れに力を入れており、村の温泉施設「たっぷの湯」を昨年改修し、体験型観光の受入れ体制を整備している。

今田会長は、現在69歳。平成21年5月に商工会長に就任した後、平成27年5月に石狩管内商工連会長、道商工連理事に就任。村観光協会会长を務めるなど地域振興に尽力している。

新篠津村は、石狩管内北部に位置し、村の全域が石狩平野にあり、田園風景が広がる人口3千3百人ほどの村である。

主産業の農業は、約250戸の農家が従事しており、米作が最も盛んで、他にも小麦や大豆を栽培している。最近では有機栽培に取組む農家が多いことでも有名である。

観光では、夏は石狩川沿いにある「しのつ湖」での水上スポーツ、「しのつ公園」のキャンプ場とゴルフ場が、多くの利用者で賑わう。また、冬はしのつ湖

商工会事業では、7月中旬に「商工会夏まつり」を開催し、まちおこし委員会や女性部が中心となり、うどん、おでん、焼鳥などを提供するほか、「千円札のつかみどり」を行い、会場を盛り上げている。また、8月には村が行う「青空まつり」にも商工会が出店し、今年は開村120年にあたって、前夜には記念の花火大会が開催された。

さらに、村と農協と商工会が連携する「農商工連携協議会」の事務局を商工会が受け持ち、道の駅に隣接する「産直市場」の運営を行い、村の特産品販売の役割を担っている。

今田会長は、「これからも地元が元気になるような事業を商工会として推進していきたい」



(有)今田自動車は、資本金300万円、従業員7名。(有)新篠津交通は、資本金600万円、従業員4名。

「地域のお客様に利用される会社」を常に目指して経営にあたっていると今田会長は話された。

Rバスの撤退をうけて、(有)新篠津交通を立上げ、岩見沢まで1日20往復バスを運行するなど村民の足としての交通を確保している。

企業紹介

(有)今田自動車は自動車整備業として昭和42年4月創業。また、平成14年7月には、JRバスの撤退をうけて、(有)新篠津交通を立上げ、岩見沢まで1日20往復バスを運行するなど村民の足としての交通を確保している。

と抱負を語った。

経営者の退職金制度を知っていますか?

「小規模企業共済」ってのは
経営者が事業をやめたり、
役員を退いたときなどに備える
退職金制度
なんだって!

将来もらえる共済金は
一括で受け取ると
退職所得扱い
になって税制上の
Wメリット!



掛金は
節税
にもなるのよ!

●本制度についてのお問い合わせ・お申し込みは

お近くの商工会又は北海道商工会連合会へ

【制度内容は次のホームページをご覧下さい。 <http://www.smrj.go.jp/>】

..... 本制度は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構が運営しております。



挑戦する企業 株丘の上わくわくカンパニー（鶴居村）

鶴居村字
雪裡にある
株丘の上わ
くわくカン
パニー（服

部佐知子代表取締役）は、地元の食材を使ったファームレストラン「ハートンツリー」を運営し、自社製チーズやソーセージなどを製造して業績を伸ばしており、地場産品のPRに貢献している。また、商工会の女性部長として活躍している。

◇創業したいきっかけは？
鉄路管内の高校卒業後、大阪市の調理専門学校に進学、就職後に結婚したが、北海道で酪農の応援団をしたいとの思いから、夫婦で移住を決意し、鶴居村の現在地が気に入り、平成11年に店をオープンした。

◇お店の特徴は？
当社は、とにかく地元の自然にこだわった食材を提供することに徹する。地元農家が栽培する野菜を使った料理を基本とし、平成22年にはハーブを有効活用する会を立上げて栽培を始め、料理を取り入れるほかハーブで染めた3色の塩を開発した。

さらに、平成23年には、地元酪農家が生産する牛乳を何とか使いたいと、チーズ工房を建設して製造始めた。

また、現在多くの女性に働く場を提供し、子育てしながら働く店を目指し、女性の常勤従業員2名とパート6名を雇用している。

◇最近の開発商品は？
今年5月に、地元養鶏場の鶏を使った「無添加鶏肉ソーセージ」を開発。続いてチーズ製造の副産物で高たんぱく、低脂肪のホエー入りも開発し、好評を博している。

アイスクリームや地ビールの製造にも挑戦して、多くの人の雇用の場を作り、村の活性化につなげたい」と意欲的に語ってくれた。

服部社長は、「今後ホエーのアイスクリームや地ビールの製造でも挑戦して、多くの人の雇用の場を作り、村の活性化につなげたい」と意欲的に語ってくれた。

編集後記

残挑とどどり戦の2ヶ月。今年も残すところあと2ヶ月となりました。経過はなはだ成多始く年齢とともに感じるといふと新鮮な話を聞く間に、いつでも気軽に・何度でも！



【企業概要】	
創業年	平成11年8月
資本金	50万円
従業員	2名
年商	2千万円

人材育成は中小企業大学校旭川校にお任せください！中小企業の「ひとづくり」に貢献します。

北海道の中小企業及び地域の課題・ニーズに合わせた「自社課題解決型」講座が目白押し！

2015年度おすすめ講座のご案内 *12月*



■No.21 法令遵守とビジネス法務講座

期間 2015年12月2日(水)～4日(金) 受講料 31,000円(税込) 対象者 経営幹部・管理者(候補者)

■No.501 経営幹部・管理者のためのリスクマネジメント講座

ストレスチェック義務化法
2015年12月施行

期間 2015年12月17日(木)～18日(金) 受講料 22,000円(税込) 対象者 経営幹部・管理者(候補者)

◎ちょこっとゼミナール(ちょこゼミ)を開講しています◎

パソコンやスマートフォンで学べる手作り経営講座です。●無料 ●Youtube ●登録不要 ●10分間 いつでも・気軽に・何度でも！

アドレスはこちら→ <http://www.smrj.go.jp/jinzai/chokozemi/index.html> または **ちょこゼミ** で検索！

講座の詳細は 小中 旭川 で検索！お申込みもwebから！

お気軽にお問い合わせください

電話 0166-65-1200

旭川市緑が丘東3条2丁目2-1

中小企業大学校旭川校

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部